

舞鶴市議会 市民文教委員会 活動報告

- 長野県塩尻市における取組の調査
- 群馬県前橋市における取組の調査
- 静岡県焼津市における取組の調査

市民文教委員会調査視察

実施日：令和5年5月9日～11日

◆ 視察の目的 ◆

自治会だけでなく、地域に関わる多様な主体が、大きな枠組みで連携し、地域課題にあたるなど、新しい枠組みによるこれからの地域コミュニティの在り方について調査するとともに、検討を重ね、より効果的な取組へつなげる。

子どもの健全な育成を支援するため、地域と共にある学校づくりを推進するとともに、地域と学校が連携・協働し、地域全体で学校を支える取組を推進している先進事例を調査し、地域で活動するスポーツ団体と学校部活動の連携の充実に向けた政策提言につなげる。

図書館基本計画に基づき、中央図書館と各分館をネットワークでつなぐ等、図書館サービスや図書館機能の充実を図るための様々な整備・施策の展開が計画されており、市民にとって、魅力的で、より利用しやすい図書館機能の再編となるよう、先進事例を調査し、今後の展開につなげる。

〔市民文教委員会の令和5年の重点事項〕

- (1) **新たな地域コミュニティ形成促進の調査・研究**
- (2) **地域で活動するスポーツ団体・文化団体との連携を調査・研究**
- (3) **中央図書館と図書館機能の再編の調査・研究**

視察先及び日程

日	程	視察先	調査事項
令和5年5月9日（火）	午後1時～2時30分	長野県塩尻市	中央図書館と図書館機能の再編について ～ 塩尻市立図書館（えんぱーく）現地視察 ～
令和5年5月10日（水）	午前10時～11時30分	群馬県前橋市	新たな地域コミュニティの形成に係る取組について
令和5年5月11日（木）	午前10時～11時30分	静岡県焼津市	地域で活動するスポーツ団体との連携について ～ 休日部活動の地域移行について～

舞鶴市議会のホームページに視察報告書を掲載していますので、ご覧ください。



市民文教委員会調査視察

実施日：令和5年5月9日～11日

視察先	調査事項
長野県 塩尻市	中央図書館と図書館機能の再編について ～ 塩尻市立図書館（えんぱーく）現地視察 ～
	(1) 「図書館」「子育て支援・青少年支援」「シニア活動支援」「ビジネス支援」「市民活動支援」の5つの重点分野を設定した背景について
	(2) 相乗効果を生み出す融合事業の取組概要とその効果について
	(3) 市民からの評価について
	(4) 課題及び展望について



《塩尻市の取組の概要》

- ◆ 塩尻市立図書館本館が入居する塩尻市市民交流センターは、図書館のほか、市民活動を支援する「交流支援課」と「子育て支援センター」の3セクションからなっている。このほか建物内には、塩尻市観光課、塩尻市振興公社、塩尻商工会議所、塩尻市ふるさとハローワーク、民間企業等があり、官民が同居した複合施設となっている。
- ◆ 市民交流センターは、「知恵の交流を通じた人づくりの場」を基本コンセプトに据えており、活動の重点分野として、「図書館」「子育て支援・青少年交流」「シニア活動支援」「ビジネス支援」「市民活動」を掲げ、その実現のために、「役立つ情報を提供する」「意欲と活動を応援する」「センター自身が進化する」という3つを目指している。
- ◆ 市民のためのより高いサービスの提供を実現するため、運営にあたっては「協働による運営」や「機能融合を目指した事業運営」等を掲げ、市民交流センター全体が一つのサービス体となる仕組みと取組が意識されており、図書館もその一員として従来の図書館機能の充実とともに、他の機能との連携による新しい図書館サービスの実現を目指している。

《委員の所感》

- 分館機能の充実にも力を入れることによって、図書館利用が伸びていることから、分館の役割も重要であると感じた。
- 建物の空間利用がうまく設計され、広い環境が整う中、交流スペースや学習スペースなどがあり、本の並べ方も既成概念に捉われないことなく、利用する市民の目線で配架されており、心が通う図書館づくりを感じた。
- 図書推進アドバイザーが活動しやすいように配置され、読書活動推進に向けた取組をしており、図書館運営にはソフト面での人材育成も重要であると感じた。
- 「地域づくりは人づくり」という説明がとても印象的であり、その「人づくり」のためには、図書館の役割が重要である。その点での市民的な議論が重要であると感じた。
- 市民のニーズに応えられる図書館として進化しながら運営をされており、本市の中央図書館においても多額の予算をかけての開設となるため、市民の声をしっかりと聴き、市民のための図書館づくりを希望したい。

市民文教委員会調査視察

実施日：令和5年5月9日～11日

視察先	調査事項
群馬県 前橋市	新たな地域コミュニティの形成に係る取組について
	(1) 地域づくり協議会の役割について
	(2) 令和5年度からのタブレット端末の無償貸与に係る事業（事業決定に至る経過をむ）について
	(3) 展望について
	(4) 今後の課題と考えられることについて



《前橋市の取組の概要》

- ◆ 24地区中、23地区が地域づくりのモデル地区の指定を受け、地域内の連携を深めながら、地区の特色や創意工夫を活かし、より多くの人々が楽しく参加できる活動に取り組み、主体的な地域づくりが進められている。
- ◆ 地域づくり推進事業助成金として、誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを推進するため、地域づくり活動に係る経費の一部を助成している。
- ◆ 地域と行政が一緒に取り組む地域づくりを推進し、地域と行政のパイプ役となる地域担当専門員を市内に16人配置し、19地区の地域づくりを支援している。
- ◆ 自治会との連携強化や活性化につなげることを目的に、全24地区284自治会を対象にタブレット端末を無償で貸与する事業を令和5年度から開始する。これにより、自治会間の横のつながりの強化や災害時の避難所の開設など防災情報を迅速に伝えることが期待されており、通知等の郵送経費の節減も見込まれている。

《委員の所感》

- 地域づくり協議会の設立に向けて市民が関心を持ち、自分たちで作り上げていこうと士気を挙げ取り組まれており、地域主体による課題解決力の向上のため、地域全体が楽しく取り組めるような活動がされ、様々な地域の力を寄せ合って対応をされていた。
- 地域の課題は、長期的な取組となるため、人材を確保しながら新たな担い手を探し長期間に渡り展開されており、「地域担当専門員」という地域と行政のパイプ役を設置し、他の機関と連携ができる組織となっている。
- 地域づくり推進事業は「仕掛けづくり」をする行政の手腕にあると考える。本市においても、現状に応じた未来を見据えたまちづくりを市民自らが主体的に取り組めるような仕掛けづくりが必要であると考える。
- 市からのタブレット端末の無償貸与により、各地域間との情報共有に時間を要することが解消されたほか、防災訓練の実施をはじめ、小学校の運動会の様子を配信されるなど、WEB会議の有効性を実証するものになった。

市民文教委員会調査視察

実施日：令和5年5月9日～11日

視察先	調査事項
静岡県 焼津市	地域で活動するスポーツ団体との連携について ～ 休日部活動の地域移行について～
	(1) 地域部活動に係る事業（経過を含む）について
	(2) 関係者（保護者、指導者、学校、生徒など）の評価について
	(3) 課題及び展望について



《塩尻市の取組の概要》

- ◆ 焼津市地域クラブ活動は、中学校で行われている学校部活動とは別に、学校外の地域の人々が中心となって行う新しい形のクラブ活動で、主に休日の活動が中心であり、平日は今までどおりの学校部活動が行われる。
- ◆ 市内には中学校が9校あり、人数の多いクラブは学校単位で、人数の少ないクラブは複数校で一緒に地域クラブ活動を行っている。
- ◆ クラブ活動に係る費用は保護者負担であり、種目や主催者によっては活動費用が異なる。

- ◆ 指導者には、「部活動外部指導者」と「部活動指導員」があり、部活動顧問（主に技術指導）の補助をする「部活動外部指導者」は、年間40日（80時間）以内で1時間当たり1,000円の報酬が支払われ、単独で練習実施や大会等の引率も可能で部活動顧問の代わりになる「部活動指導員」は、会計年度任用職員として任用され、年間176日を上限に市教育委員会が研修会を実施している。



- ### 《委員の所感》
- 市教育委員会主催での部活顧問者会を実施し、部活動指導員や部活動外部指導者の派遣など、多方面の連携やその時期に応じた課題解決の取組に加え、費用負担も大きな課題であると考えます。
 - 子どもたちの「やりたい」という気持ちを保護者の都合で断ち切るべきではない。「子どもの思い」「魅力的な活動」「やりがい」のこの3点がとても重要であるが、地域部活動指導員の確保には難しさを感じた。
 - 明確な地域クラブ活動の推進スケジュールを事前に立て、市民に対して周知しておくことで、課題とされる部分においてもクリアできる手法は学ぶべきである。
 - 「子どもたちや教職員、保護者、焼津市民にとっても魅力的な地域クラブ活動を！」と、市の広報を活用するなど市全体での取組となっており、本市においても、舞鶴市全体の取組として大いに広報を活用し、市民に協力していただけるような制度を構築すべきであると考えます。